

新しい洗濯表示のポイント

～お客様への説明のために～

なぜ洗濯表示記号が変わったか？

JISの新しい「取扱い表示記号」は、国際規格 (ISO 3758) のケアラベルと同じ記号を用いています。

国内外で表示を統一することによって、お客様が衣類を購入する際の利便性が高まります。

また、洗濯で使用する洗濯機や洗剤類は多様化し、

商業クリーニングの技術も進歩しているなか、

それに適合した新しい記号で表示する必要があるからです。


ーコラムー

世界貿易機構(WTO)に加盟している国はISOで定められている表示記号を使わなければならない国際ルールがあります。日本も1995年の発足時から加盟しているためこのルールの適用が急務になっていました。


新しい取扱い表示のポイント

- ・新しい表示記号は、「洗濯」「漂白」「乾燥」「アイロン仕上げ」「商業クリーニング」の順に並んでいます。
- ・従来の表示方法から「家庭でのタンブル乾燥 ☉」と「商業クリーニングの (W) (ウエットクリーニング)」が増えました。
- ・表示記号は省略できますが、省略した場合はその記号が意味する処理方法がすべて可能になります。
- ・文字ではなく、記号と数字で<強さ>や<温度><禁止>を表します。

洗濯のしかた




例




40℃を限度とした、弱い洗濯ができる

漂白のしかた




例



漂白剤は使えない

乾燥のしかた




例




日陰でのつり干しが良い

アイロンのかけかた



例



温度200℃を限度としたアイロン掛けができる

クリーニングの種類



例



石油系溶剤での通常のドライクリーニングができる

・5つの基本記号



+

・付加記号

強さ	線なし 通常	— 弱い	=== 非常に弱い	× 禁止
温度	・ 低い	← → ← →	・・・ 高い	

+

・付記用語

例) あて布使用
* 任意

・付記用語

記号だけでは伝えられない情報は、簡単な言葉で記号の近くに付記用語として記載される場合があります。

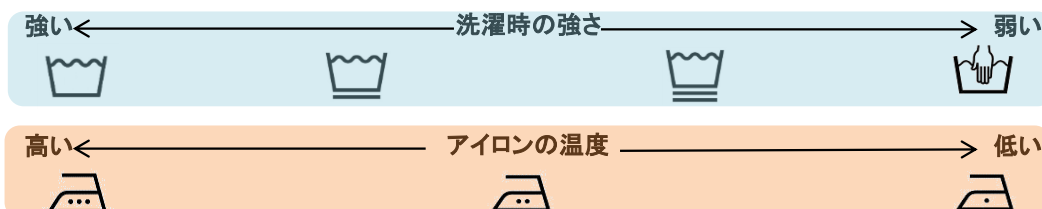
お客様へのご説明ポイント

1. 家庭で洗濯やアイロン掛けをする場合

下の図のように記号が示す強さか、それよりも弱い範囲内で洗濯、アイロン掛けをしましょう。

表示よりも強く(高く)扱うと、衣類にダメージを与える可能性があり、注意が必要です。




家庭洗濯記号が示す目安



2. 漂白剤を使う場合

家庭洗濯用の漂白剤は一般的に、下記のような種類があります。衣類に付いている「漂白記号」や記号の近くに書かれている付記用語を確認して、使用可能な漂白剤を使いましょう。

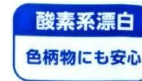
* 使用の際は漂白剤に記載している用途や注意事項、使用条件などを守りましょう。

漂白剤の種類	塩素系漂白剤		酸素系漂白剤	
		 粉末	 液体	
特徴	使えるのは白物のみで、素材も限られている。	基本的に白物や色柄物に使えるが、使えない素材もある。	白物や色柄物に使える。(毛・絹に使用できるものも多い)	
漂白記号との適合	△	○	○	○
	△△	×	○ (毛や絹は×)	○
	△△△	×	×	×

<酸素系漂白剤>

色柄物に使える漂白剤です。パッケージには「酸素系漂白剤」や「色柄物にも」などと書かれています。ただし、粉末タイプのものは毛や絹には使用できません。

酸素系漂白剤のパッケージ例



<漂白剤入りの洗剤>

△の表示のある製品には漂白剤入りの洗剤は使用できません。洗剤の成分表示や用途欄も確認しましょう。

3. 乾燥させる場合

家庭で行うタンブル乾燥(機械乾燥)

右のようなタンブル乾燥の記号があれば、家庭用のタンブル乾燥機を使って乾燥させることができます。点「・」は乾燥温度を表します。

「・・」はヒーターを「強(高温)」などに設定します。

「・」はヒーターを「弱(低温)」などに設定します。

家庭用タンブル乾燥機が使える記号



ヒーターを「強(高温)」などに設定



ヒーターを「弱(低温)」などに設定

<タンブル乾燥機>

機械の中で洗濯物を回転させながら温風で乾燥する衣類乾燥機。

日本では、洗乾一体型洗濯機や回転式衣類乾燥機がこれにあたります。

<素材と乾燥温度>

ナイロンなど合成繊維は耐熱温度が低いため、乾燥温度に注意が必要です。乾燥後はすぐに取り出しましょう。セーター、ポロシャツ、Tシャツなどニットやジャージは縮みやすいので表示を確認しましょう。

一体型



乾燥独立型




-自然乾燥の記号と干し方(外干しや室内干し)

<p>〈つり干し〉</p>    <p>脱水後、ハンガーにかけるか、小物干しなどにつるして干します。</p>	<p>〈平干し〉</p>   <p>脱水後、平らな場所に広げて干します。</p>
<p>〈ぬれ干し〉</p>     <p>線が2本の場合は、脱水せず(絞らず)に干します。 (タオルなどで軽く水分を取るようお勧めしましょう。)</p>	<p>〈陰干し〉</p>     <p>「斜線」が有る場合は日陰で干します。</p>

4. クリーニング店へ依頼する場合

- Ⓟ Ⓡ Ⓜ など ○ で示された記号は、商業クリーニング(クリーニング店)での取扱い表示です。
- Ⓟ や Ⓡ は有機溶剤の種類です。
- Ⓜ はウエットクリーニングを表しています。

Ⓜ があれば、家庭洗濯禁止  であっても、クリーニング店での水洗い洗濯を依頼できます。
家庭では洗えません。

日本のクリーニング店の主な洗濯方法

- 〈ドライクリーニング〉 Ⓟ Ⓡ
- 水で洗うと型くずれしやすい衣類を対象とした、パークロロエチレンや石油系溶剤などの有機溶剤を用いた洗濯です。
- 〈ウエットクリーニング〉 Ⓜ
- 専門家による特殊な技術で行う水洗いと仕上げを含む洗濯です。
- 〈ランドリー(対応する記号はありません。)>
- 専門家の管理の下、ワイシャツやシーツなどを対象とした高温での洗濯です。